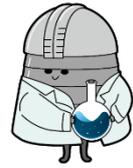


プラスチックフラワー

～プラスチックに熱をくわえて立体的なお花を作ろう～

熱をつかった工作



プラスチックフラワー

プラ板をトースターで熱すると？

★★★ ちょっとむずかしい

プラスチックの性質、熱を使った工作

よいするもの



□プラ板(100円ショップで購入可) □紙 □アルミホイル □的になるもの(工夫してみてね) □細めのワイヤー



□トースター



電子レンジ不可

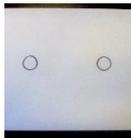
□はさみ □カッター □カッターマット □セロテープ □軍手 □台所用スポンジ □ホットボンド □鉛筆 □油性ペン □定規 □大きめのビー玉



かならず おとなのひとと いっしょにしてください。

つくりかた

①



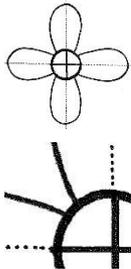
五円玉、十円玉など好きな大きさの硬貨をなぞって、円を2つ描きます。これが花の中心部分になります。

②



円に十字の線を引く。

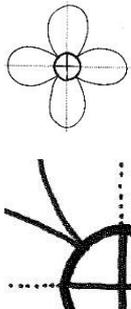
③



線の真ん中が花びらの中心にくるよう均等に、花びらを4枚描きます。

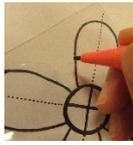
花の上にくるプラ板の下絵は、隣り合った花びらと花びらの間は5mmくらいあけておきましょう。すき間があることで、下にくる花びらが見えやすくなります。

④



花の下にくるプラ板の下絵も同じように描く。このとき、花びら同士のすき間は必要ありません。

⑤



下絵とプラ板をセロハンテープでとめて、花びらの色に使う油性ペンでなぞる。

⑥



プラ板の下に白い紙をしき、油性ペンで色を塗る。

⑦



大体の大きさに切り取ってから細かい部分を切り取っていく。

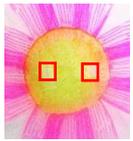


はさみを入れる方向



花びらの入り込んだ部分を切る時は、左右からはさみを入れて切り取ってください。はさみの角度を変えて無理に切ろうとするとプラ板が割れてしまいます！

⑧



花の下にくるプラ板の中心に、カッターで2か所穴を開ける。



カッターを使うときは力を入れ過ぎて指をケガしないように気をつけて！

⑨



軽く丸めてしわを付けたアルミホイルをオーブントースターに敷き、スイッチを入れて温めておく。



このとき、ビー玉とスポンジを近くに用意しておこう！

⑩



ある程度温まったら、両手に軍手をしてプラ板を1枚ずつ入れる。



ここからはあっという間なのでトースターから目を離さないで！
プラ板を加熱するとき、形を整えるときは、必ず軍手をつけましょう。

⑪



プラ板が一度ギュッと縮んでゆっくりと広がったら、プラ板を優しくつまむようにオーブントースターから取り出す。

⑫



温まったプラ板をスポンジの上に乗せて、10秒くらいビー玉を押し付けて形を整える。冷めるとプラ板がビー玉を押し付けた形に固まります。2枚目も同じように形を整えてください。



⑬



穴の開いた方のプラ板に、ワイヤーを通しねじる。

⑭



もう一つのプラ板を花びらが交互にくるようにホットボンドでつけたら完成です！



いろいろな色で作ってみましょう。

まめちしき

プラ板はなぜきれいにちぢむのかな？



プラ板は、もともと小さなプラスチックの板をのばして冷やし固めたものです。

プラスチックにはいろいろな種類がありますが、中でもポリスチレン製のプラスチックはトースターなどで熱を加えることで元の大きさに戻ります。

今回の工作は、プラスチックの熱で縮む性質を利用しています。また、熱を加えて柔らかくなったプラ板が熱いうちは自由に形を変えることができるのです！